

WIN^{CONCORD} コンコード NEWSLETTER

事業とボランティア活動

WINコンコード副代表

村上 恒夫

WINコンコードの活動が、NHKの『週間ボランティア』という番組で「ニッポンの暮らし応援します」というタイトルのもと、全国に30分番組で5月2日に放映される事になりました。この記事が出てWINコンコードの総会が開催される頃は、既に放映された後になると思いますが、この様に大きく取り上げられるというのは、皆様方WINコンコードに集まった方々の活動がうわべだけのものではなく、また留学生の皆様も、本当に心を開いてこの活動が作り上げられているからだと深く感謝申し上げます。

私は事業の経営者ですが、WINの活動をさせていただきながら、あるきっかけから非常に大きな教訓を得ました。その教訓とは、「事業もボランティアも基本は同質の社会活動である」ということです。生活の糧を稼ぐために大勢の人がともに集まり、有料のサービスを提供するのが事業であり、みんなからお金を集め公共の為のサービス提供をするのが行政であり、社会的要求はあるものの有料サービスにも、行政サービスにもうまく適合しない部分が、善意の心の方々によるボランティアです。社会の活動は大きくこの3つに分かれます。我欲に走り、本来の社会的役割を忘れた事業者や行政も多く見受けられますが、事業とは本来ボランティアが持っている心の優しさと同じ基盤の上にあるのだと気付く事が出来ました。これは、私の人生の中でも非常に大き

な発見でありました。社員とともに事業を展開するときもこの気持ちを共有し、事業という社会活動を通して、社会にお役に立とうと話合っていますし、皆がその活動をボランティア活動するときと同じ喜びを持って行える様にと願っております。

神戸の大震災でのニュース映像で私の目に焼き付いた1シーンがありました。それは多くのボランティアの心温まる活動を報じた映像の多い中、焼け出された商店街の1軒の小さな魚屋さんが、焼け落ちた店を取りあえず片づけ、お魚をコンロで焼いて売っておられる映像でした。お客はよくこんな大変な時期に暖かい焼魚を売って下さっていると感謝していますし、お店の方もこれ以上のいい顔は無いという表情で生き活きとご商売をなさっていました。ボランティアとして活動なさっている心優しい多くの方々の顔と比べても勝るとも劣らないすばらしく良い顔で、仕事をしているその顔を見て、仕事の本質はここにあるのだと強く思いましたし、事業もボランティア活動と同じく、本当に社会にお役に立つ仕事をさせていただいている事を喜びながら、仕事をすべきであると思いました。

最後に、WINコンコードの活動も7年目を迎える事となりますが、心の輪の拡がりがいよいよ大きくなる事を念じてご挨拶と致します。

アルバニア

スパホ・エディ

(アルバニア)

アルバニアは、ヨーロッパ大陸の南部に位置した小さい国です。アルバニアの面積は28,000km²で、人口は3,500,000人です。

アルバニア人はラテン民族、ギリシア人、スラブ人と同様、ヨーロッパの中で最も古代人だと言われています。また、アルバニア語はヨーロッパの言語の中で、古くから使われている言語の一つです。

アルバニアは鷲の国と呼ばれていて、国旗は2つの頭がある黒鷲が中心に描かれた赤い旗です。我がアルバニア共和国は、地理的にはとても重要な位置にあります。そのため、何世紀もの間古代ローマ帝国やトルコ等の外国の軍による占領に苦しんできました。よって、旗の赤はアルバニア人が何度も敵と戦った事を象徴し、中心に描かれている鷲は、占領や、他国との併合に抵抗したアルバニア人を主張している事を意味します。

英語で日本をJAPANと言うように、私の国を英語ではALBANIAと言ひ、アルバニア語ではSHQIPERI（シュチプリ）と言ひます。皆さんが「日本人」と言うのと同様、私は「SHQIPTAR」（シュチプタール、アルバニア人）です。SHQIPERIと言うのは鷲と言う意味であり、その鷲については前述したとおりです。

1912年、ロンドンで開かれた会議で、イギリス、アメリカ、ロシア、フランス等の超強大国が政治的理由により、アルバニアを2つに分裂する事を決定しました。そのため、国の北東部はユーゴスラビアとされ、残りが現在のアルバニアになりました。それは、国民にとって最も悲惨な出来事でした。しかし、慣用句にもあるように「弱肉強食」即ち、大国は常に小さな国の運命を決めるのです。

アルバニアの宗教を大きく分けるとイスラム教、カ

トリック教、オーソドックスの3つとなっています。トルコ帝国による5世紀間の占領で強制されていたためか、人口の75%はイスラム教徒です。カトリック教徒は10%、正統派が13%、残りの2%はその他です。

アルバニアは、いつの時代にも他の国に影響されてきました。その結果、文化やその他の様々な事柄が他国と類似しています。アルバニア語を例に挙げると、初期の母国語は90%以上アルバニア語を使っていました。しかし、現在のアルバニアで話されている言語は、25%がトルコ語、40%がラテン語、そして、35%が古くから使われているアルバニア語と、これらが混じり合っていてきています。

長年、国が占領されていたため、アルバニア人が統合した国をつくる事が出来ませんでした。第二次世界大戦中、アルバニアはまずイタリア軍、そしてその後、ドイツ軍によって占領されました。第二次世界対戦後、東ヨーロッパ全域で、共産主義政権が、権力を持つようになりました。約50年間、共産主義政権により、アルバニアは孤立した国になりました。今の北朝鮮のように、誰も外国に行く事が許されませんでした。

本当に冷酷な支配期間で、最も無駄な時期でした。その間に、意外な事が沢山起こりました。例えば、1944年から1960年までアルバニアが交流した大きな国はソビエト連邦（ロシア）だけでした。そのため、経済、技術、社会などの全ての分野で幅広い友好関係が続きました。大勢のロシア人の学生がアルバニアに留学し、大勢のアルバニア人もロシアに行きました。ロシアに行ったアルバニア人の多くは、ロシア人と結婚しましたし、逆に、アルバニアにいたロシア人も同様でした。家族や子供ができ、皆普通の暮らしができていたのです。ところが、1960年に突然アルバニアの共産主義政府がソビエト連邦との交流にビリオドを打つ事を決めたのです。それ以来、アルバニア共産主義政府にとって、ソビエト連邦は最大の敵となったのです。両国民が結婚し、築き上げた素晴らしい家庭も離婚するよう強制され、又離



婚しながらなかった夫婦は、監獄に入れられてしまいました。このように信じ難い、そしてナンセンスな事が次々と起こりました。

1990年に民主主義の時代がやってきました。何十年にもわたる独裁政治から開放されたからと言って国民は、急に自由経済や、現実の国法等を採用するのはとても難しい事でした。

アルバニアの経済は主に農業や、織物工業等の産業が盛んです。

マザーテレサは、世界で最も有名なアルバニア人で、世界中の貧しい人々や病人を救う様働き掛けています。

現在のアルバニアはとても大変です。1992年から1997年1月までの間、お金を預けて利子を得る、世に言うねずみ講のような仕組みが作られました。利子はとても高く一ヶ月25%から35%でした。80%ものアルバニア人達はそれにお金を預けました。

それだけでなく、密輸等によって不正なお金が沢山入ってきており、それに政府も関わっていたため、このねずみ講の仕組みは崩れてしまいました。国民は政府の責任だと言って怒り、ここ2ヶ月は大混乱していましたが、国際連合が介入し、状況は良くなっています。

これがアルバニアの過去と現在の簡単な状況です。

翻訳：松島 美恵

Song for the WIN-Concord (My Sayonara Greetings.)

Philo B. L.
(Zaire)

Like an implacable blow of kaze weeping everything on its way.
Time has blown this bitter Winter and
Our two-years study at Wakayama university.

However, time has failed to consume.
It has failed to consume our best souvenirs:
The WIN-Concord, the WIN-Concord members and their kindness!

Should our gratitude be expressed,
Who can teach us the words of our sincere gratitude

We need that word of thanks.

For, we have been guests of the WIN-Concord.
We have been witnesses of the utmost Japanese kindness.
We have been introduced to WIN members privacy.
We have learned a lot about Japan and Japanese.

Did you write a ronbun about Japanese culture?
Get in touch with the WIN-Concord!
And you will get an opportunity to learn more than expected.
And you'll get a chance to finish your ronbun soon!

We were provided with the necessities for the daily life.
Picnic, sightseeing, eating out, company visits and karaoke parties.
We got tens of them each year, these are the currency of WIN.
Have you been to Shimizu? Or, did you go skiing down Biwako slopes?

We leisurely enjoyed all that entertainment,
As daughters and sons of the WIN-Concord.
Haven't we been amazed with all that great kindness?

Didn't we often ask of each other what we could do in return?

WIN-Concord, if I forget all your kindness,
That is because I have lost all my memory!



豊かな草原

賈金柱

(中国)

私は中国の内モンゴルで生まれ、内モンゴルの大草原で育てられました。

子供の頃から絵に興味を持ち、身の回りの色々なものを対象にし、雄大な草原の風景とそこで生活している遊牧民、動物を描き続けてきました。

内モンゴルの人々は、主に遊牧生活をしているので、馬や牛や羊などの動物は牧民にとって、何よりも貴重なものであります。大草原は資源もとても豊かであり、鉄鉱、金鉱、石炭、石油などのエネルギー資源がたくさんあります。他に、一千種類以上の野生動物と植物も生息しています。

内モンゴルの総面積は1,183,000 平方キロメートルで、内モンゴルのオルドス草原と呼伐欠尔草原と錫林郭勒草原は世界で有名で総人口は、約20,243,000 人です。首都はフフホメ市で、人口は1,285,900 人であり、フフホメ市は内モンゴルの政治、文化、経済の中心地であります。

内モンゴルの北部に、850,000 平方キロメートルの面積を持つ、中国で一番大きい草原があります。春になると緑色の大草原の上に、馬や牛や羊などが、群らがっている風景は、まさに詩的な画面であります。

内モンゴルの南部には農産物が多くて、東部には大興安嶺という森林があります。西部には、鉄鉱が多くて、白雲鉄鉱や包頭鋼鉄会社は中国で有名な大企業です。

内モンゴルは、中国の少数民族が生活している中心地である。特に、モンゴル民族は昔からの遊牧生活スタイルのままで、今まで守り続けてきました。蒼き狼・・・チンギス・ハンは、この大草原で生ま



れた世界でもっとも知名度の高い英雄です。彼を記念するために、モンゴル人は西部のオルドス草原で、チンギス・ハンの廟を建てました。世界各地からの参拝客が多く来ています。

無限の大草原の上に立って、遠く遠くにある地平線を見ていると、色々な美しい夢が浮かび上がってきます。私はこの大草原を愛しています。

将来の夢

田祥平

(中国)

私は少年時代に教師になるつもりだった。二十歳に大学を卒業してから、教師になった。少年時代の夢を実現した。

後の夢は？

留学生として、日本の先進の学校経営と理科教育を勉強している。留学目的は何か。国へ帰ってから、何をするつもりか。この問題は繰り返し考えます。今、外国の新聞の載せる中国のニュースは、ほとんど中国の経済が発展して、将来、経済大国になるということです。しかし、中国経済の発展の基礎教育には問題がある。

ある日、中国の新聞で貧しい所の女の子が勉強して

いる風景を見つけました。教室はぼろぼろで、机は古くてがたがたでした。女の子はおんぼろの服を着ていましたが、瞳はぱっと光るひかり、勉強を覚えようとする切実な願いが感じられました。この写真は、忘れられません。

現在、中国の経済は発展の途中だが、交通の不便な所は貧しい。教育資金は不足しているし、教師も不足している。その所の子供たちは学校に入ることも難しいが、子供たちは学校にとっても入りがっている。今、その子供のために“希望工程”という補助金があるが、残念ながら、補助金は少ないので、一部の子供は依然学校に入ることが難しい。私は都市の子供を教えることだけではなく、学校に入りたいが、入れない田舎の子供も教えたい。

だから、貧しい所に学校を建てて、学校に入りたい子供は全部入れるようにしたい。ぼろぼろの教室はないし、古くてがたがたの机はないし、女の子は綺麗な服を着、子供たちは明るい教室で勉強し…
以上は私の夢だ。

この夢は永遠の夢かも知れない…

私は、教育に対して興味だけではなく、責任もある。今まで日本を経済の先進国として五十代、六十代が一生懸命仕事してきたと思う。中国の将来は同じだと思う。

日本で留学してから、勉強した知識を応用するべく、中国の子供のために日々努力したいと思う。



(田さん 左側)

考えてみよう!

金 汪 根

(韓国)

留学の目的は人によって違うだろうが、概して、学問の探究と、自分の国と違う様々なところを見つけ、留学先の社会を理解し、そこでの人々との人情味のある関係構築を築き、お互いに、文化の違いから来る誤解や偏見などを避けながら楽しく過ごすことだと言っても間違いないと思う。私の場合、今度の留学が長期間の研修を合わせて2回目なので、大勢の人々と付き合い「優しくて親切なだけの日本人」という外面的なことではなく、出来るだけ内面的な日本人の姿を発見しながら日本を学ぼうとして来た。しかし、一年ぐらいの生活で、これが日本人の本来の姿だとは即断は出来ないけれども、私を失望させた幾つかのことについて書いてみたい。

はじめに、日本風の礼儀を話したい。日本のことわざで「ところ変われば品変わる」というのがあり、地方によって風習、習慣などが違ってもすぐ認めることが当然かもしれないが、それが、外国人にとっては悩まされることがある。例えば、私が家族を連れて和歌山に来たばかりのある日、近所の人々にキムチを作ってあげたことがあった。ところが、一時間も経たない間に色々なお返しが返って来たのでびっくりしたことがある。私にとっては、ほんの少しのお礼だったのに、その後も上げたらもどってくるお返しが繰り返されたので、もう諦めてしまったことがある。言い換えれば、迷惑を掛けたことになっただろう。特に、病院にお見舞いに行ってからのお返しは、日本人の礼儀正しさに至りだろうか。

また、外国人から見た日本人の個人主義を指摘してみたい。世の中、どこでも、自分なりのやり方で暮らしているが、すべてのやり方が個人から出発する国といえば、日本も例外ではないと思う。それは、釣りでビン、カンを捨てても叱る人は一人もいないのに、自分の空っぽの駐車場で子供が遊んでいた

ら迷惑を掛けられたと思う人がいるからだ。そういうことから見ると、国際化時代を迎え、個人主義が垣間見られることも多いだろう。例えば、外国人が日本人との付き合いでよく聞かれるのは、自分の国の情報に関する事が多い。でも、外国人が知りたいのは日本での生活のため、欠かせない情報だけでもほしいのに、教えてくれることではけちである。こういうことも、日本人の考えが自分なりの基準から相手を説もうとする個人主義人からくる一面ではないかと思われる。

それから、日本人の倫理観の喪失について述べたい。最近、新聞に高齢化時代の日本の悩みを表している孤独死の問題が載っており、一年間で数百人の老人が孤独に死んだそうだ。同日、テレビでベットに、栄養のバランスを十分に考えたえさをやり、きれいな服を着せ美容院へ連れていったりして、子供みたいに可愛がっている場面が出て来た。ベットさえあんな幸せに暮らせる日本が、伝統的な倫理を忘れてしまい、老人を寂しく死なせる反倫理的な行動は止めるべきだ。

終わりに、私が書いて来たのは、わずか一年間で見て感じた事だから、これが、確かにそうだとはいえないが、経済の豊かさ追求に向かってひたすら邁進して来た日本人の姿が、外国人からはこんなに見えることを語っておきたい。



「一国二制」から……

孫 徳 林

(中 国)

今年7月1日はイギリスから中国に香港返還の日である。中国における歴史的な大事件、また世界でも大事件である。過去、中国とイギリスの間に香港返還の問題をめぐって、激しく論争があって、一時、物わかれの局面に落ちてしまいました。その時「一国二制」という中国著名政治家 鄧小平氏の発想から、やっと中英の香港問題は決着をみました。「一国二制」とは何か……一つの国の中に二つの社会制度が存在することである。つまり、中国大陆の社会主義市場経済と香港の資本主義の自由経済が共存することである。中国が香港の主権行使以外、現在、香港の安定、繁栄のため、香港社会制度は五十年内が変わらないことである。

真面目な話と変わって、春休み、北京に帰りました。親戚が集まったり、友達と話したり、とても楽しかった。その中で一つ気になったのは友人の子供の転校問題である。彼の子供が有名な小学校に転校したい。但し、学校に寄附金として3万元（日本円で45万円）を払わなければなりません。幸い、彼が務めている会社支払ってくれました。（中国では珍しくない）ご存知のように中国の小学、中学校も義務教育であり、ほとんどが国立、公立小中学校である。今の一つの問題は国の財政予算で今日の小中学校の教育水準維持はきわめて困難である。校舎の改装、設備の充実、コンピューターの購入、またもっと良い先生を呼ぶため資金の需要量は年々増え、学校側が非常に悩んでいて、その時「一校二制」が誕生しました。一つの学校の中で二つの制度を導入します。国立、公立の運営資金のクラスと私立のクラス（この学校に入る資格のない学生のため）である。学校側の資金運営不自由の状態が解消されるし、入りたい生徒も学校に入れるので、よく知られるように中国の一人っ子政策で普通の家庭の子供教育がきわめて重視されますので、いくらお金がかかっても良い

学校に入りたいという現実である。実に「一校二制」政府から禁止されます。

日本に戻って、ニュースで沖縄問題をめぐって、日本政府が、「一国二制」という話を耳にしました。結局どうなるか、気になっています。

国と国、人間と人間、いろいろな悩みがあって、もちろん、いろいろな解決方法もあります。政治家や校長先生は頭の良い人間であるが、普通学生の悩みは誰も聞いてくれません。私は妻と離れて、日本で一人暮らして「一家二妻」を許してもらえないかな。誰か教えてほしい。

WINコンコードの皆様へ

プル ボロン

(カンボジア)

私は、1994年の4月に日本に参りまして、6ヶ月間大阪外国語大学で日本語を勉強してから、和歌山大学の経済学部で2年半おりました。そして、今年の3月に和歌山大学を卒業しました。私は卒業後帰国し、仕事をするつもりでしたが、運良く大阪市大学の doctor course の試験に合格し進学することに決めました。

私は、初めて日本に来た時、少し生活の問題がありました。それは、慣れていなかったからです。しかし、和歌山県に来て、日本の生活に慣れましたが、いつもカンボジアで家族と一緒に住んでいましたから、一人で暮らして、寂しいと思いました。そして、妻と2人の子供が来ました。その時から、ずっと和歌山市駅の近くの福島に、家族と一緒に住むようになりました。和歌山県は、暖かい所で、母国の気温と比べて似ているし、和歌山に来る事が出来て、良かったと思います。

毎日の生活は、いろんな問題があって、いつも WIN

の皆様は、いろいろな日本の事を勉強させて下さって、とてもいい勉強になりました。長い間たいへんお世話になり、本当にありがとうございました。特に、松島さんの家族と田村さんの家族に感謝しております。そして、暖かい心を持った和歌山県の皆様にも、いろいろお世話になって、私は心から感謝しております。

今から3年間、大阪市立大学に在学するようになっても、よろしくお願い致します。



Friend

You and I
may not realize
You and I
made the dreams of yesterdays.

Sharing moments of sadness
Nobody can feel it
Sharing moments of happiness
Only you and I can feel it.

The time that we had
when we were together
will be in my heart
for ever and ever

You are the greatest
No one can take your place

Sugu
February, 1997

留学生紹介

大学院の部

- Kunlganaa Deleger Jargal モンゴル／教育
1996年10月3日に日本にきました。
家族は七人。家内と子供が五人、女の子二人と男の子が三人です。私は34才です。モンゴルの大学を1986年に出ました。高校で物理を教えています。趣味は音楽、モンゴル民謡が好きです。
- Noer Chasanah インドネシア／教育
私はノールです。インドネシア人です。平成8年10月から10年3月まで日本にいます。
まず最初に、私はWINコンコードにありがとうと言いたいです。皆さんのおかげで、私がここで何でもやさしくなります。和歌山へ来る前に大阪外大で日本語を勉強しました。そして4月1日に和歌山へ引っ越しました。和歌山大学で教育を勉強します。国にいますとき8年間ぐらい中学校の英語の教師でした。日本の生活はおもしろいですがたいへんです。大阪でも和歌山でも私の生活は楽しかったです。幸運にも私はここで良い人々に会いました。それで日本の文化も学びたい。たとえば、着物の着付けや生け花などです。皆さん、私に教えて下さい。じゃ、終わります。
- Spaho Edi アルバニア／経済
My name is Spaho Edi. I was born in 1971 in the city of Korcea, in the south part of Albania. In 1993 I graduated from the University of Tirana, Faculty of Law.
So my major is Law.
After graduating I started working as a teacher of Business Law in the University of Tirana, Faculty of Law till October 1996, at which time I came to Japan. Here, I spent my first six months in Osaka University of Foreign Studies, studying Japanese.
After that I moved to Wakayama University, where I will study for a Master's Course.

My hobbies are music, sports, Japanese culture and Japanese girls.

学部生の部

- Ahmad Jazemi B Mohamed マレーシア／経済
はじめまして。私は、アハマド・ジャゼミです。マレーシアから来ました。20才です。
私の趣味は、マンガを読むことです。兄弟は8人で私は一番上です。来たばかりの時、日本はとても寒いと感じましたが今は、もうだいじょうぶです。今は、会館で住んでいます。和歌山大学では経済を勉強します。卒業後、私は銀行で働きたいと思います。今の予定は、日本人の友達を作りたいです。これは、私の日本語をじょうずにするためです。今は楽しくなりました。本当にありがとうございます。
- Abdullah B Ahmad マレーシア／経済
はじめまして。私はアブドゥラーと申します。マレーシアの一番北の方のペルソス州からまいりました。今年の3月27日に日本に来て、日本語がまだ上手ではありませんから、いろいろなことを勉強しなければなりません。日本人の友達がまだ少ないですから、まだ日本での生活に慣れていません。そして、皆さんといっしょにいろいろなことを教えて頂きたいと思っています。スポーツが好きなのでよかったら、いっしょにやりましょう。
- Zukarnai B Husain マレーシア／経済
私はズカルナイと申します。マレーシアのクランタン州からまいりました。今年の4月に来たばかりなので、まだまだ日本語が上手に話せません。そして日本の友達がまだ少なくて日本での生活にまだなれていません。私は5人兄弟で次男です。私はスポーツが好きです。特にサッカーとマレーシアの伝統的なスポーツのセバタクロウが好きです。マレーシアでは野球に人気がないですが、だんだん好きになって、阪神ファンです。
まだまだ、日本の方々と日本の文化をたくさん勉強しなければなりません。しかし、初めて来た時から、和歌山の人々のおかげで、和歌山は私の第

二の町になりました。よろしくお願いします。

・楊 峰 中国／教育

私はヨウホウと申します。中国の西安からの留学生です。福岡で日本語を勉強しました。でも、日本語がまだ下手ですので、先生の講義がよくわかりません。今後、がんばります。

将来、中国と世界の国々のコミュニケーションがもっと強くなると思いますから、和歌山大学の教育学部で国際文化を習っています。みなさんといっしょに、互いの国々の理解を深めましょう。

趣味・・・切手、歴史の勉強。

・Intan Maslina BJ Razalli マレーシア／経済

名 前：インタン・マスリナ・ラザリ

生年月日：21 FEB. 1977

兄 弟：6人（一番上） 住所：クランタン

趣 味：料理を作る、旅行、ショッピング

好きな物：花 嫌いな事：悪いこと

夢 : 卒業していい仕事をする。その後自分の会社をつくります。（旅行会社）

長 所：友達を作ることは、あまりむずかしくない。

短 所：忘れることが多い。

家 族：とても良いファミリーです。6人の兄弟妹は、とてもびったりです。

何がほしいか：勉強のことは問題ありません。

WINの人達へ：何かとても良いくれることは、心から忘れません。

Life's Prinsip:

*人生に苦しいことがなければ、人生の意味がありません。

*もっとたくさんいいことを他の人にあげると、もっと幸福なことをもらいます。

・Lamphun Wannarot タイ／教育

My name is Mr. Lamphun Wannarot.

I came from Rajabhat Institute of Chaing Rai I'm 28 years old. I'm very glad to study in Wakayama University because I can learn many things there. Especially, in particular how to get some friends, how to communicate with a lot of people. I promise I'll try to a get good experience in Wakayama University and Wakayama-ken. And let me say "thank you" for help from officials or the Government and the volunteers who take care of us.

・Palee Ramjun タイ／教育

私はレームジャン・パリーです。タイから来ましたが、チェンマイ ラジャパットで日本語を勉強しました。そして今2年生ですが、じょうずではありません。私は21才です。



紺 祐子

(日 本)

私が留学生と初めて出会ったのは、以前京都で日本語教師をしていた長女の元へ行った時の事でした。彼女の部屋に遊びに来た二人の中国留学生は未だ日本語が上手に話せず、私と彼等は筆談まじりの会話でした。思う様に話せない自分をもどかしく思いながらも、何となく気持ちを通じ、わずかな時間でしたが、別れが惜しまれ、何べんも何べんも手をにぎり合ったのを覚えています。

それから約一年後、和歌山大学留学生をホストファミリーとして我が家に迎える機会を頂きました。

一年目は中国研究生のKさんとマレーシアのHさんで、Hさんは非常に聡明で心やさしく、人の面倒見の良い女性で、現在大阪大学博士課程に進み一生懸命がんばっています。

二年目は大学院のTさんで、彼は翌年妻子を呼び勉強、アルバイト、父親役の三役を立派にこなし、いつも明るい笑顔で私達に接してくれます。彼は私の兄(寺院)のたつての願いで、檀信走の方々に週に一度、気功を通じて心身の健康法を指導してくれています。

三年目はマレーシアのZ君と中国大学院のJさんです。Z君は人なつこい性格の持ち主で「今試験中ですが少し時間があるので会いたいです。行ってもよいですか」等と電話をくれ、いそいそと迎えに行き一緒にスーパーマーケットで夕食の材料を買い物したりします。先日愛媛大学や金沢大学で学んでいる母国留学生を連れて来て「友達です」「先輩です」と紹介してくれたりして、いつも楽しい雰囲気を作ってくれます。

Jさんは、初めて我が家を訪れた時「和歌山大学を選んだ理由は、私の祖父が昔、海草郡下津町で理髪

店を営んでいたが、日中戦争が始まる少し前、家族を中国に帰し、自分だけが事情があって、日本に残ってしまった。祖父が生涯過ごしたこの和歌山で勉強し、いつかその地を訪れたい」と話してくれました。私は彼の思いに心打たれ、直ちに下津に住んでいる友人に事情を説明し、生前のおじいさんを知っている人を探してもらう様お願いした。思ったより早く友人は、その人達を探してくれ、翌日曜日、私達は車を下津町へと走らせました。

おじいさんが戦後も理髪店をしていた事、土地の人々からカメやんカメやんと呼ばれ親しまれていた事(子供を散髪する時、いつも、もしもし亀よ亀さんよ・・・の歌を歌っていた所からいつのまにか、こう呼ばれる様になった)、お葬式には大勢の人が参列し、おじいさんをしのんだ事など、当時の写真をまじえながら、語ってくれました。

理髪店も、名前こそ変わっていたものの、昔のままで現在も上海出身の方がされています。

又、Jさんのお父さん(おじいさんの息子)が、子供の頃よく遊んだ八百屋や郵便局の息子さんにも会える事が出来、そこに居合わせた人々の胸を打ちました。

このような感激の瞬間に立ち会えた事は、私の人生に於いても貴重な体験となりました。又、後で解った事ですが、その時色々お世話下さった方々が、以前から中国語を勉強していて、そのグループの講師がなんとJさんと母国の大学で卒業論文の為の研究を共にしたクラスメイトであったという事でした。世間はせまいといいますが、国際交流等という言葉をはるかに越えた人間同士のつながりをまざまざと思い知らされました。

その他、行事等で出会う留学生はそれぞれ個性があり、又素直で、時にはとても無邪気な笑顔で接してくれます。私は彼等のその笑顔がなにより大好きです。そして病身の夫へのいたわりの言葉や心遣いは、私達の心を幸せにしてくれます。

これからも色々な国の人々と色々な場面で出会えたら、さぞかし老後も又楽しい事だろうなあとと思っています。

株式会社東レの見学報告

李 欣 芳

(台 湾)

年が明けた一月十日と十一日に、WINの方々が私達留学生を率いて、株式会社東レの見学とスキー旅行に行ってきた。

もちろん、スキー旅行はとても楽しかった。今回の工場見学はたっぷりと時間をかけて、詳しく案内してもらい、皆が熱心に質問をしたりして、沢山の貴重な知識を得ることができました。

皆さんも今回の素晴らしい工場見学とその日の向川さんのユーモアに溢れた講演を忘れない、ここでもう一度簡単に紹介しましょう。

我々が見学したのは東レの滋賀事業場でした。そして、まず見学したのは TORAY RESEARCH CENTER で、そこで目にしたのは、いろいろな精密な研究機械、難しい化学式と言葉及び優れた技術を持っている研究者たちであった。見たもののすべてが初めてのことで、興味津々、質問しようと思っていたけれども、教育を学んでいる私にとって無理でした。でも、親切な解説員と中国からの留学生で物理が専門の田さんのおかげでなんとか質問して、ようやく少しづつ分かって来ました。

・TRC事業内容

1. 分析、物性評価の受託事業
2. ライフサイエンス試験研究受託事業
3. 調査研究事業
4. 研究開発受託事業
5. システム事業
6. 講演会、研修会などの開催

私達が見学したのは分析、物性評価の事業部門でした。

・研究内容

- | | |
|---------|-------------|
| 1. 材料物性 | 2. 形態観察 |
| 3. 有機分析 | 4. 無機分析 |
| 5. 構造化学 | 6. 医学、生化学分析 |

・研究分析、物性評価機能

1. 品質設計、改質
2. 分析測定マニュアル、システム設計
3. 生物科学的試験、研究
4. 各種環境、学術データ
5. トラブル対策、解決方法
6. 新製品、プロセス開発の方向づけ
7. 目的に応じた品質評価
8. 構造、組成の明確化

東レは1926年に設立させ、日本の繊維業界では屈指の大手会社です。

・主な事業内容は

1. 合成繊維製品—ナイロン、ポリエステル、アクリル、人工皮革など
2. プラスチック製品—ポリエステルフィルム、ナイロン樹脂、超耐熱樹脂成形品など
3. ケミカル製品—合繊、産業用接着剤、医、農業中間体等のファインケミカルなど
4. 新事業製品—医薬品、医療関連製品、光ディスク、LCD用カラーライルターなど

向川さんのユーモアに富んだ講演で、東レと日本と世界各国の合繊産業の実態と変遷について紹介してくれました。その他も株価や価格破壊の背景や各国の賃金比較などのお話もしてくれて、留学生の皆さんもとても熱心に質問していたので、まるで経済の授業をしていたようにとても有意義でした。

最後、締め括りとして、東レの製品展示場へと案内された。びっくりしたのはその製品の大部分は、今我々の日常生活の中で欠かせない製品ばかりでした。つまり、今我々が何気なく使っているもののほとんどは繊維や化成で造られたものであるということです。今回の工場見学は、私にとって一番有意義でした。改めて日本の高度技術の素晴らしさを知らされただけではなく、今我々が使っているものの一つ一つは全部いろんな原材料、人、技術などなどを重ねて製造された製品だから、これからも、もっと物を大切に使い続けていかなければならないと思っています。

僕の二番目の故郷

スクマラン クンガブ

(マレーシア)

出発の日、平成6年10月5日が来た。夜23時50分の飛行機に乗るから急がないでゆっくり必要なものを大きなかばんの中にきれいに整えました。その間、前勤めた会社の同僚と友達から電話がどんどんかかってきた。「がんばってね！日本の女性はきれいだけど、ちゃんと勉強してね！暇なとき手紙ちょうだい」とかいろんな忠告を言ってくれました。

きれいな青い空だったある日の夜、父親、兄弟といっしょに辛そうなインド料理のごちそうをいただきました。別れる日だったからごはんを食べてる間、悲しくて、涙が流れました。それを見た兄貴が「泣かないで」と言いました。「カレーがちょっと辛かったよ」と偽って答えました。

マレーシアのスパン国際空港で涙を流しながらみんなにさよならを言って、JALに乗りました。飛行機の中で、日本で勉強しなければならない言葉を初めてスチュワーデスの口から聞きました。こんな難しい言語を半年間で箕面市にある大阪外国語大学でマスターして、その後和歌山大学で修士課程を卒業することができるかなと少し不安を感じました。

出発の日母が作ったごちそうがあったけれども、家族と別れるから悲しくてあまり食べなかったから、飛行機の中でお腹が空いてきました。飛行機で注文したものを食べようと思って、ふたを開けた時、生魚を見て食べる気がなくなりました。その時頭の中に、日本へ行って食事をどうしようと心配しました。しかし、日本へ来て一番嫌だったあのお寿司は今大好きなものになりました。もう一つのおいしいものは、お好み焼きと冬のお鍋です。

大阪外大で半年間、いろんな国から来た留学生といっしょに日本語を勉強したけれど、全然日本語で話

しませんでした。授業以外ではほとんど英語だった。和歌山へ来て日本語で話すことができるようになりました。ここでいろんな方々にお世話になっておりました。特に和太の先生方。その次は WIN Concord membersとホストファミリーとまた他の日本人と外国人留学生の友達にも、心からありがとうと言いたいです。

僕が和太を卒業して、日本に「さよなら」を言う日も遠くない。今年の3月で日本に来て2年半になるけれど、昨日来たばかりのような感じがする。日本では知り合った人の数も少なくない。日本へ来て和太で勉強して、卒業できることは本当によかったと思います。いろいろな“sweet memory”を作ってくれた和歌山は、僕の二番目の故郷になってしまいました。



1996年度活動経過

- | | |
|----------|--|
| 4月 7日 | 新入生歓迎花見 (和歌山城) |
| 5月 1日 | WINコンコード総会・交流会 |
| 5月 8日 | 加太春日神社まつり参加 |
| 8/24~25日 | サマーキャンプ
(清水町 海瀬様宅) |
| 11/9~10日 | 大学祭 模擬店協力 |
| 12月 2日 | クリスマスパーティー
(和歌山YMCA) |
| 1/1~3日 | 新年会 (各ホストファミリー) |
| 1/10~11日 | 会社見学とスキー旅行
(御東レ 滋賀県) |
| 3月 25日 | 卒業生とのホームパーティー |
| 年 間 | 住宅紹介・入居・転居の支援
生活用品の貸与
ホストファミリープログラム
生活情報提供、相談 |

橋詰 エステーラ 健美

(ブラジル)

私は、橋詰 エステーラ 健美と申します。サン・ピセンテ、ブラジルから参りました。ジュリオ・デ・メスキタ・フィリヨ、サン・パウロ州立大学の情報処理技術学部を七年前卒業しました。勤めていた病院関係のソフト・ハウスで特別に一年間の休みを貰い、留学しに来ました。

日系三世ですが、お祖父さんは和歌山出身なので県費留学生の形で来られました。和歌山県でなければならないという事で、他の場所を選べなかったけど「日本は全然知らないからどこでもいい」と思いました。今は和歌山よりいい所はないと思っています。私は本当にラッキーです。親切な方ばかりに会って、日本の文化と言葉は何か分かるようになりました。大学で留学生のための日本語、長友先生の授業に出ていました。二つレベルに参加しまして、漢字の読み方だけでなく、生活の事もたくさん習いました。たとえば料理の話、手紙の書き方、日本人の風習など。マレーシア、中国、タイランド、台湾、カンボジア、オーストラリア、ザイルなどの留学生と友達になって色々な国の文化も知る事ができて、学校へ行くのはすごく楽しかった。

WIN CONCORD の皆さんのおかげで色々な所に遊びに行きました。ブラジルは南半球でこちらに来る時夏だったのに、日本に着いてまた暖かい季節に入るので、寒さを恋しくなった時もありました。特に雪を見たかった。滋賀県へ行って、実際に雪を見て感動しました。始めてスキーをやってすごくこわくて、面白かった。でも後、寒くて寒くて「私はやっぱり暖かい国に住んだ方がいいかな」と思いました。ブラジルに戻って寒い季節に入る時ですが、雪が降らないから大丈夫。

でも、一番うれしかったのは、夏休みにお祖父さんが七十年前離れた故郷へ行かれた事。新宮駅で叔父



さんといとこが待っていました。「お祖父さんにそっくり」と思いました。もう八十歳を超えたはずなのに、めがねも使わないで運転できる事に驚きました。那智の滝へ観光に行って、「温泉に入りましょう」と叔父さんが言いました。田舎だから「男性と女性みんな一緒に入るのかな...」と心配していましたが、りっぱな新しい温泉に連れられました。翌日、静峽を見に行きました。お祖父さんの強さと美しさは熊野川の影響だろうと感じました。

残念ですが「さよならパーティ」には出られませんが、「WELCOME PARTY」の時を思い出しました。五月ごろ、全く知らない皆さんの前で平気に踊りましたが、今ならほとんど知り合いなのできっとはずかしくなったかな。

この一年間に数えられない方々にお世話になりました。その方々に心から感謝を申し上げます。主にWIN CONCORD の皆さんとお祖父さんがいなければ日本はただの夢でした。どうもありがとうございました。







WINコンコード設立趣意書

現在社会は、政治・経済・文化のすべて分野で、地球を一つの単位として捉え、はじめて、その機能を十分に発揮しうる状況に至っていると思われる。そして、このかけがえのない地球の責任を担っているのは、たった一つの「種」に留まる「ヒト」即ち人間であり、その一人一人の人間が確立された個として、地球の貴重な構成要素としての役割を果たすことが求められています。民族の違いは、多様な文化の豊かさを示すにすぎず、国境は行政を効率的に行うための境界にしかすぎないのです。

WINは、人間の知恵を結集し、愛すべき郷土和歌山が、人間味溢れるネットワーク（HAN Human Active Network）で結ばれた、活性化された地域となるために活動するものです。そして、世界各国から勉学の間を求めて留学して来る人々に、より良い環境を整えることは、ひとつの単位となった地球上に「HAN」を構築するうえにおいても重要なことであり、これにより、地球のひとつの地域である和歌山が、世界とダイレクトに結びつき、和歌山の優れた文化が世界に紹介され、地球の多様で豊かな文化環境の醸成に寄与できるのではないかと考え、我々は、WINコンコードを設立するものです。

WINコンコード事務局

〒640-01 和歌山市加太2201-339

TEL 0734-59-3888 FAX 0734-59-3889